

— 令和6年11月1日発行 第154号 —

みてみてとうま

相馬市議会だより

主な内容

- 9月定例会審査報告・・・2
- 特別委員会要望活動・・・17
- 市政に対する一般質問・・・10
- 臨時会報告・・・18
- 9月定例会審議結果・・・16
- 次期定例会の日程（予定）・・・19

写真：頭を垂れる稲穂

9月定例会の概要

令和6年第5回9月定例会は、9月2日から9月19日までの18日間の会期で行われ、市長提案議案15件、請願2件、陳情1件、議員提出議案1件、認定6件を議決しました。

ここでは、主な議案の内容と委員会審査を含めた審議の経過などについて、お知らせします。



後期高齢者被保険者証及び資格証明書の廃止に伴い資格確認書の発行など

15 議案を議決

第73号

個人番号の利用及び

特定個人情報の

提供に関する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い、法令等の規定に合わせた字句の整理などを行うもの。
この改正により、12月から健康保険証が通称マイナ保険証に一体化され、各健康保険の資格確認、市子ども医療費の助成及び市ひとり親家庭医療費の助成等の申請手続きが簡略化される。

議員

個人番号を利用した情報連携による行政サービスの効果や有効性について問う。

市

マイナ保険証により、申請者が現在どの医療保険に加入しているか確認が取れるため、手続の際に申請者へ確認する書類等の簡素化が図られ、迅速な手続が可能となる。



第74号 後期高齢者被保険者証 及び資格証明書の 廃止に伴い 資格確認書の発行

本年12月2日以降において、マイナンバーカードと後期高齢者医療被保険者証の一体化に伴い、新規で後期高齢者医療被保険者証が発行されなくなるため、所要の改正を行うもの。

なお、マイナンバーカードを持っていない方及びマイナンバーカードと被保険者証の紐付けをされていない方が従来の被保険者証と同じように医療機関等で受診ができる資格確認書を発行する。

また、経過措置として、12月1日までに交付された被保険者証は住所や負担割合等に変更がない限り、有効期限（令和7年7月31日）まで使える。

第72号 ひとり親家庭医療費 助成に関する条例の 一部を改正する条例

国の児童扶養手当法施行令の改正で条文の整理がなされたことにあわせ改正するもの。条項の繰上げで規定の中身自体に変更はない。

児童扶養手当法施行令については、今回所得制限の見直しが行われ、ひとり親家庭医療費の受給対象者にも所得制限があり、同じ所得額を適用している。

児童扶養手当の所得要件の変更にあわせて、ひとり親の受給資格の所得制限も変えることになる。

ひとり親の受給資格の更新時期は11月からとなっており、それにあわせて、新しい要件で今後所得判定をしていくことになる。

人事案件5件を議決

☆農業委員会委員

廣瀬 恵美子 氏（新任）

☆固定資産評価審査委員会委員

中島 寛 氏（再任）

荒 知之 氏（再任）

☆人権擁護委員

菊地 義広 氏（再任）

菊池 幸枝 氏（再任）



請願第1
請願第2 **国、県に対し**

**「学校給食費無償化を求める意見書」
提出についての請願**

請願趣旨

全国で学校給食費無償化
が大きな流れとなっており、
県内においても35市町村が

から、国や県に意見書の
提出を求める請願が提出
されました。

無償化、一部補助が19市町
村に及び実施されている。

請願第1、請願第2に
ついて、討論が行われた
ため、内容を要約し、ご

一方で、市町村によって

報告いたします。

は財政上の理由で、実施で
きなかったり、一部補助に
とどまっているという違い

※「請願第1」は国に、
「請願第2」は県に対して
の請願となります。

があり、同じ県内に住んで
いながら居住地によって保
護者の給食費負担が大きく
異なる問題等が生じること

請願に反対

全国議長会から国へ要望をしていることや、
国の少子化や子育て施策等の点から、学校給食費無償化を取り
組む方向で進んでいるため、市議会として意見書を出す意味が
ないと考え、請願に反対する。



河内幸夫議員

請願に賛成

物価高騰により、年々学校給食費が増加して
いる。市には豊かな財源がなく、国が学校給食費無償化を実施
した場合には、他の学校教育の部分や、他の事業に資金を使う
ことができるため、請願に賛成である。



瀬庭大輔議員

請願に反対

市が実施している学校給食費無料化の主な
財源は、相馬共同火力発電株式会社から生じ
た石炭灰を光陽地区にある産業廃棄物埋立処分場へ埋め立てる際
の処分手数料であり、事業も安定している。また、市としての現
在の問題と考えていないため、請願に反対する。



高橋利宗議員

請願に賛成

市が実施している学校給食費無料化により、
市内の子どもたちは、どんな家庭に生まれても、安心して食事が
提供され、その権利が保障されている環境となっている。
他自治体の子どもたちにも、同様に保障がされるよう請願に
賛成する。



中島孝議員

請願に**反対**

全国一律での学校給食費無償化についての課題は決して少なくはない。国は今後更なる調査、議論を重ねていくとしており、引き続き国の動向や議論に注視しつつ、方向性が固まるまで、市議会として、意思を明確にすることは控えておくべきと考えるため、請願に反対する。



門馬優子議員

請願に**賛成**

国が明日、明後日にも学校給食費無償化を実施するのであれば、国や県に対し意見書を提出する意味はないが、議論の段階であるため、提出すべきと考える。また、全国的に学校給食費無償化を望むべきであるという方向性は一致しているため、請願に賛成である。



根岸利宗議員

請願に**反対**

請願の中で、学校給食費無償化において地域間格差があるとされており、国や県に対し、学校給食費無償化を求める意見書を提出するとしているが、既に学校給食費無料化を実施している自治体の議会が、地域間格差を謳う意見書を提出することは不適切だと考え、請願に反対する。



杉本智美議員

請願に対する賛否一覧

	議決結果	賛成	反対	新政会					にじ			そうま市民の会	新時代そうま	無会派							
				石橋 浩人	菊地 清次	波多野 広文	河内 幸夫	佐藤 満	愛澤 俊行	横山 和雄	畑中 昌子	杉本 智美	門馬 優子	浦島 勇一	根岸 利宗	山中 宣明	只野 敬三	中島 孝	獺庭 大輔	高橋 利宗	高玉 良一
請願第1 国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	賛成少数 不採択	4	1 2	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	議長
請願第2 県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	賛成少数 不採択	4	1 2	●	●	●	●	●	欠	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	議長

※ ○は賛成、●は反対
 ※ 議長（高玉良一）は採決に加わりません。

正算 補予

補正予算の主なもの



追加額	内容
5,478万円	(歳入) 新型コロナウイルスワクチン接種事業
50万円	(歳出) 新規就農者経営開始資金事業
92万3,000円	(歳出) 骨太けんこう体操体制整備事業
△2億1,816万1,000円	(歳入) 財政調整基金繰入金
197万5,000円	(歳入) 原子力損害賠償金

新型コロナウイルスワクチンの定期接種費用の一部助成、
骨太けんこう体操に係る費用等の追加補正予算を議決

新型コロナウイルスワクチン

定期接種費用一部助成

国がワクチン生産体制等緊急整備基金を活用し、新型コロナウイルスワクチンの定期接種費用の一部を助成するもの。

新規就農者経営開始

を支援する補助金

新規就農者1名分で、就農開始時の6月から9月、月額12万5,000円の4カ月分を補助するもの。

議員

自己負担額について問う。

市

2,100円である。



議員

就農者の詳細について問う。

市

市内在住の40代の方で、作物はきゅうりを栽培しており、栽培面積は15アールである。



骨太けんこう体操

に係る費用

骨太けんこう体操体制整備事業92万3,000円のうち、51万2,000円については、ブルーレイディスクプレイヤー2台及び折畳みイス30脚の購入費で、残りの41万1,000円については、液晶テレビとテレビ台をそれぞれ2台購入するもの。

議員

現在の骨太けんこう体操を行う団体数と働きかけの状況について問う。

市

骨太けんこう体操を行う団体は、60団体であり、登録者は662名となっている。現在、社会福祉協議会の職員を中心に骨太けんこう体操の普及啓発を進めている。



財政調整基金

繰入金の減額

当初の予定より歳入が多いため、繰り入れる財政調整基金を減額し、調整するもの。

議員

9月補正後の残高について問う。

市

42億7,662万5,000円である。

原子力損害賠償金による弁償金

弁償金

有害鳥獣対策及び玉野地区の健康診断関係費用に係る賠償金であり、弁償金として増額するもの。

議員

原子力損害賠償金の請求について問う。

市

賠償が認められた内容は、放射能対策として行っている有害鳥獣の処分費用が主であるが、それらの事業に係る人件費は認められていない。市では、今後も人件費を含め、毎年請求を行っていく考えである。

令和5年度相馬市一般会計・特別会計歳入歳出決算一覧 (単位：円)

会 計	歳 入	
	予算現額	収入済額 (A)
一般会計	24,389,760,800	23,341,573,442
国民健康保険特別会計	3,787,955,000	3,759,420,879
後期高齢者医療特別会計	473,438,000	474,796,726
介護保険特別会計	3,772,980,000	3,893,182,133
光陽地区造成事業特別会計	1,545,148,000	1,664,426,022
計	33,969,281,800	33,133,399,202

会 計	歳 出	
	予算現額	支出済額 (B)
一般会計	24,389,760,800	22,347,374,095
国民健康保険特別会計	3,787,955,000	3,728,650,354
後期高齢者医療特別会計	473,438,000	470,380,608
介護保険特別会計	3,772,980,000	3,649,616,717
光陽地区造成事業特別会計	1,545,148,000	1,538,279,640
計	33,969,281,800	31,734,301,414

令和5年度
決算認定審査報告

会 計	歳入歳出差引額 (C) ※ (A) - (B)	左のうち翌年度 繰越財源 (D)	実質収支 ※ (C) - (D)
一般会計	994,199,347	104,559,700	889,639,647
国民健康保険特別会計	30,770,525	0	30,770,525
後期高齢者医療特別会計	4,416,118	0	4,416,118
介護保険特別会計	243,565,416	0	243,565,416
光陽地区造成事業特別会計	126,146,382	0	126,146,382
計	1,399,097,788	104,559,700	1,294,538,088

令和5年度相馬市下水道事業会計決算一覧 (単位：円)

下水道 事業会計	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額
収 入	1,183,582,000	1,189,894,927	790,098,000	523,415,800
支 出	1,164,907,000	1,147,409,740	1,161,961,000	878,001,067
収 支		42,485,187		※△ 354,585,267

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額については、過年度分損益勘定留保資金及び当年度分損益勘定留保資金で補てんしています。

市税の収納状況

市税全体の収入済額は、53億4,117万1,308円であり、前年度比で約1,400万円の減収。不納欠損額は、2,091万1,257円で、前年度比約110万円の減。収入未済額は2億1,143万2,430円で、前年度比約140万円の増。収納率は、現年度課税分、滞納繰越分を合わせて95.9%となっている。

議員

今後の市税収入の見込みについて問う。

市

収入済額は、令和5年度に坪田地区のメガソーラーの稼働もあり、53億円を超えている。令和6年度の見込みは、昨年度の最終調定額を超えており税収は維持できると見込まれる。

地方交付税の状況

令和5年度の地方交付税合計額は、50億9,542万5,000円であり、その内訳は、普通交付税32億4,406万円、特別交付税14億4,643万1,000円、震災復興特別交付税4億493万4,000円となっている。

議員

地方交付税の今後の見通しについて問う。

市

普通交付税は、例年約30億円であり、特別交付税は、特別な状況がなければ、例年、5億円程度である。



一般市営・災害市営住宅の家賃収入等

一般市営・災害市営住宅の住宅使用料は、家賃収入や駐車場収入、滞納繰越分等、計1億2,071万2,948円となっており、家賃収入が7,266件分、駐車場収入が2,805件分、滞納繰越分が610件分となっている。

また、令和5年度分の収入未済額については、1,266万8,672円で、一般市営住宅51件、災害市営住宅44件、合計95件である。

議員

今後の徴収見込みについて問う。

市

近年の災害や社会情勢の変化などにより、経済的に苦しい方がみられる。また、入居者の高齢化も進んでおり、家賃を納められない方がいるが、

分納していただくことで、滞納を少しでも減らしている状況である。

長期にわたり滞納している方については、今後、裁判所等を通じてアプローチをしていきたいと考えている。



市営黒木田団地



市営刈敷田団地

一般質問とは、議員が市政の執行状況や方針などを質問し、市の考え方を明らかにするものです。内容を要約し、発言順に掲載しています。



新時代そうま
只野敬三 議員
が問う！

プロジェクトチームを
立ち上げ取り組みを
考えるべき!!

人口減少への取り組み について

人口減少への取り組みについては、去年の9月定例会で取り上げた問題であり、その後、市議会議員選挙においても、多くの候補者が市の課題と捉え、市長からも市が抱える大きな課題であると認識されてきた。したがって、市としても常にこの問題を頭に入れながら様々な事業の展開をされてきたものと考えて、1年経過した状況について伺う。

Q. 現況について市長はどのように捉えているのかについて問う。

A. 市の人口減少の傾向は、自然増減について



新政会
河内幸夫 議員
が問う！

ドアツードアで市民が
行きたい所に行けるような
体制を作るべき!!

人口減少・少子高齢社会の行 政サービスについて

おでかけミニバスは、中心市街地活性化のために導入されたが、最近乗車人数が少なくなっている。市街地の商店が少なくなり、市民はスーパーマーケットや量販店で買い物をするのが多くなり、事業は一定の役割を果たしたといっても過言ではない。何らかの見直しが必要と考え、質問する。

Q. おでかけミニバスについて問う。

A. おでかけミニバスは、中心市街地の活性化と運転免許を持たない、あるいは返納した高齢者の移動手段の確保を目的として、65歳以上の市民



にし
横山和雄 議員
が問う！

高齢者を熱中症から守ろう!!

本市高齢者への熱中症対策 について

地球温暖化は長期化が見込まれ、市においても、今後さらに暑さが厳しくなり、夏季においては最高気温40℃を超える日も珍しくなくなる可能性がある。気候変動による人的被害において、高齢者は一般的に水不足による感覚機能や体温調整機能が低下し、重症化しやすく熱中症弱者といわれており、熱中症対策は、重要と考える。国も自治体による熱中症対策を重要視しているため、市の熱中症対策について伺う。

Q. 高齢者への熱中症対策について問う。

A. ここ数年、夏の気温が高い状況が続く中、

その他の質問

○ふるさと納税制度の活用

2025年



動画は ↓ ↑ はこちらから ↑

は、今から25年前の平成11年には自然減となり、その後は徐々に自然減が拡大する傾向で推移し、10年前と比較すると、自然減数は2倍ほどに拡大している。この傾向は、少子高齢化の影響が現れ始めた25年前から続いており、去年の9月議会で答弁してから1年経過した現在もその傾向は変わっていない。

社会増減については、過去5年間は概ね200人から250人程度の社会減が続いている。

近年は、過去と比較しても社会減が多い状況であることから、市としては、人口流出を止めるための対策に継続して注力していく必要があると考える。

社会減への対策として、高校卒業後に進学や就職のタイミンで県外へ転出した若者が、Uターンという選択ができる環境を整えるべきと考える。また、都内にあるふるさと回帰支援センターの活用を今まで以上に働きかけをしていきたい。

自然減の対策として、産科体制を構築することも考えられるが、産婦人科はチーム医療ではないと認められず、成立させるには非常に難しい条件がある。引き続き、市としては、出生という需要に応えるべく努力していく必要があると考える。

を対象に運賃無料で、車両6台、市内20ルートを週2回運行している。

利用者数の推移は年々減少しており、令和元年度以降の1便あたりの平均乗車人数は1.1人である。

市は、運行形態を含めた抜本的な見直しを模索していく必要性を感じており、その見直しにあたっては、現在の利用者やタクシー事業者への影響も踏まえて、慎重かつ積極的に検討していく。

Q. 今後増加すると思われる交通弱者対策をどう考えているのか。

A. 市は、今後高齢化がさらに進み、交通弱者が増えていくことが想定されることから、市民が利用しやすい公共交通サービスを形成することが必要になると考えている。

各自自治体においては、それぞれの地域特有の事情に応じて、様々な公共交通サービスの形態がとられており、地域の実情を踏まえた最適なサービス形態を検討することが重要となる。

市の現状を踏まえると、市内のタクシー会社は、様々な移動ニーズに応えるための重要な社会資本であることから、公共交通サービスの検討においては、その経営を圧迫しないよう、共存共栄を図っていくことが重要である。

市としては、このような点を踏まえながら、本市にとって最適な公共交通のあり方について、全国の事例を参考に研究し、高齢者等が安心して暮らせる公共交通サービスを検討していく。



動画は ↓ ↑ はこちらから ↑

その他の質問

○本市小・中学校学力向上の取り組みについて



動画は ↓ ↑ はこちらから ↑

市は暑さを避けることなど、熱中症予防への対策が重要であると考えている。

そのうえで、市は、熱中症予防のための情報発信や注意喚起、そして環境整備に取り組んでいる。

熱中症予防の情報発信等について、エアコンの適切な使用や、こまめに水分を補給することの重要性などを広報そうまや市のホームページに加え、各世帯へのチラシによる繰り返し啓発を行っている。

また、高齢者世帯に対するエアコン設置費用の助成を行っており、これまで147件の方に助成した。

さらに、市公共施設11カ所を市民に開放する「クーリングシェルター」を設置するとともに、民間施設1カ所も利用できるようにしている。

加えて、地域住民の熱中症対策として、地区集会施設へのエアコン設置に対する補助制度を創設した。

市としては、今後とも様々な機会を通じ、熱中症予防の情報発信や注意喚起を行うとともに、市民、地域における対策等を支援していきたい。



本会議における一般質問は、登壇から質問、答弁を含め1時間以内と決められています。また、相馬市議会では一般質問・質疑は通告することが例となっております。



そうま市民の会
根岸利宗 議員
が問う！

市内に温水プールが
必要ではないか？

温水プールの必要性
について

スポーツアカデミー相馬に温水プールがあったことで、市民プールと棲み分けをしてきた側面があったと考える。同施設が10月31日をもって閉館する予定であるため、市民から施設の存続や市で同様の機能をもつ施設を作って欲しいとの要望が多く寄せられており、市の考えについて伺う。

Q. 市内に温水プールが必要と考えるが、市当局の認識について問う。
A. 4月上旬に事業者から、秋頃に事業を終了すると聞いていたが、その際は、事業者が既



無会派
瀬庭大輔 議員
が問う！

地域経済と市民生活の支援の
両方に貢献する事業の
継続を求める!!

プレミアム付き商品券事業
について

相馬商工会議所は、市の補助金を活用しプレミアム付き商品券の販売を実施してきた。今年度は補助金の交付がなく、実施が叶わない。地域経済の低迷や市民生活の支援を考慮した事業の実施が求められており、地域の活性化を推進する観点からも、補助すべきと考えるが、市の所見について伺う。

Q. これまでの地域経済活性化の効果について問う。
A. 相馬商工会議所によると、令和5年度におけるプレミアム付き商品券の利用状況につい



新時代そうま
山中宣明 議員
が問う！

市内、小・中学校で
どのような取り組みを
しているのか!!

相馬市のキャリア教育
について

とどまることのない社会変化に対し、自立的に適応する能力を身に付ける必要性を強く感じ、キャリア教育が必要と考え、市のキャリア教育について伺う。

Q. 小・中学校の取り組みについて問う。
A. 小・中学校のキャリア教育における取組としては、国の「キャリア教育の手引き」に基づき、各学校において、小・中学校での成長過程を見据え取り組んでいる。
小学校においては、各段階におけるキャリア教育の発達課題を達成していくために、低学年では、「小学

に事業終了を決定した後であり、話し合う時間等はなかった。

同事業者は長年にわたりプールやトレーニングジム、ダンス事業など市民の健康づくり、体力づくりに寄与していただいていたと認識しており、同事業を終了することは誠に残念であり、市としても継続してほしかったと考えている。

市としては、新たな温水プールの建設や既存施設の改修することには、多大な財政的コストが伴い、仮に新たに温水プールを建設する場合、用地取得や建設費用などに加えて、既存のプールと2つの施設の維持管理費も発生することから、財政的には極めて困難と考えている。

現在の施設を温水化するための必要経費を調査した結果、温水ボイラーの設置。温水プールに対応したプール水槽の入れ替え。屋根部分の改修。壁面などへの断熱材の設置や暖房設備の追加などが必要であり、その費用は約5億円となる。さらに、適切に維持管理していくには、光熱水費をはじめ監視員の配置などの費用が年間約9,500万円まで増加することから、生涯学習部の既存事業に多大な影響を及ぼすため、現在の施設の温水化についても極めて困難であると考えている。

その他の質問

○高齢者や障がい者が利用しやすい室内ジムの必要性について

○教育現場の多忙化解消施策の現状と課題について



動画は ↓ ↑ はこちらから

て業種・業態別では、スーパーが約42%、化粧品・薬品店が約12%、家電・家具店とホームセンターがそれぞれ約5%、飲食店が約4%などとなっている。

なお、相馬商工会議所によれば、同事業について、商品券総額1億1,500万円にあわせて、約7,700万円が追加消費として経済効果があったとの報告をいただいている。

Q. 今後の事業実施の考えについて問う。

A. 市は、プレミアム付き商品券事業を支援するにあたり、平成26年度及び平成28年度から令和2年度までは市のふるさと振興基金を財源としていたが、東日本大震災からの復興に一定の効果があったものと捉え、令和2年度をもって当該事業への支援を終了することとした。その後、新型コロナウイルス感染症の拡大により地域経済をはじめとする住民生活に多大な影響が生じたことを踏まえ、国から交付された地方創生臨時交付金を財源として活用し、令和3年度から令和5年度まで割増分の補助を行った。

市としては、今年度を含む次年度以降の支援について、現時点では国からの交付金などの財源見通しがない状況であるため、これまでのように割増分全額を市が負担することは、他の産業との均衡を踏まえると難しいものと考えている。



動画は ↓ ↑ はこちらから

校生活に適應する」、「身の回りの事象への関心を高める」など、中学年では、「友達と協力して活動する中で関わりを深める」、「自分のよさを発揮し、役割を自覚する」、高学年では、「自分の役割や責任を果たし、役に立つ喜びを体得する」、「集団の中で自己を活かす」などの視点が大切であると示されており、これらの視点をもとに、授業に取り組んでいる。

中学校においては、「肯定的自己理解と自己有用感の獲得」、「興味・関心に基づく勤労観・職業観の形成」、「進路計画の立案と当面の選択を広げる暫定的選択」、「生き方や進路に関する情報収集や実地体験をする現実的探索」の4つの発達課題が示されており、これらを達成するために、生徒の成長や発達を支援する視点をもとに、授業に取り組んでいる。

Q. 今後の展望について問う。

A. 市教育委員会では、子供たちが自分の将来像について描きづらい現状において、子供たちが働く人の姿を見たり、地域や社会との関わり方を学んだりしながら、自分自身の人生を切り開いていく力を育む教育が必要だという考えのもと様々な施策を行っている。

子供たちが、これからの時代を生き抜くために必要な力を身に付けられるよう、学校だけでなく、家庭や地域全体、社会全体と連携しながら、子供たちを育んでいける環境づくりを充実させていきたいと考えている。

その他の質問

○今年度の新型コロナウイルスの感染状況と今後の対策について



動画は ↓ ↑ はこちらから

本会議の映像はYouTubeにアップロードしております。一般質問のページに掲載しているQRコードから動画を視聴することができます。



にじ
畑中昌子議員
が問う！

浜の駅の賑わいを、
まちなかの産業や商店街にも
繋げなければならぬ！！

地域振興について

現在、浜の駅松川浦の改修工事が進行中だが、集客力や安全性への影響や増築部の活用方法はどうか。高齢者や身体が不自由な人でも楽しんで買物ができるように、使いやすい環境作りが必要と思う。さらに、浜の駅周辺は経済的に大きな影響を持つ一方で、その効果をまちなかへの活性化にも繋げることが重要と考え、浜の駅松川浦による地域振興について伺う。

A.Q. 浜の駅松川浦の改修状況について問う。

市は、浜の駅松川浦の増築について、運営上の課題であったトイレの増設に加え、水産物の風評払



そうま市民の会
浦島勇一 議員
が問う！

財政健全化の維持・推進を！！

第6次相馬市行財政改革
大綱について

持続可能な相馬市実現に向けた経済的な行財政改革推進のため、令和5年度に制定し、3力年計画での実施期間としている。自治体経営・運営をする上では、終わらなき永遠のテーマであり、取組・諸問題について伺う。

A.Q. 計画を推進する上での課題について問う。

市は、第6次相馬市行財政改革大綱及び実施計画に基づき行財政改革を総合的に推進していく上で、3つの点を課題と捉えている。1点目は、第



無党派
高橋利宗 議員
が問う！

魅力あるまちにするため
にも市街地活性化と
城下町の特色を！！

魅力あるまちづくり
について

国で施行された歴史まちづくり法による歴史的風致維持向上計画を策定することで城下町の魅力を向上させ、更に歴史的文化と伝統の継承に役立つと考える。市の事業の認識と計画策定実施の考え、また、市街地の活性化の取組について伺う。

A.Q. 市街地の活性化にむけた取組みの現状について伺う。

市は、市街地の活性化に向けた取組として、浜の駅松川浦の来店者に、市内の他のエリアにも足を運んでいただく施策として、浜の駅松川浦、道の駅そうま、磯部水産加工施設との連携イベントを市

拭のために地物の食材を提供する調理室の設置、店舗内で購入いただいたものをその場で食べられるイートインコーナーの設置など、既設建物の東側に約468平米拡張することとし、5月より、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事等に着手しており、令和7年2月末の完成を目指している。

市としては、今後も施工業者や相馬市民市場株式会社と連携し、滞りなく増築工事が完了するように進めてまいりたいと考えている。

Q. 浜の駅松川浦の経済効果とまちなかへの流動状況について問う。

A. 市は、浜の駅松川浦を訪れる方々が、周辺地域の飲食店等へも訪れている状況について把握しており、開設以前、以降の比較のため、令和2年11月に、周辺の飲食店等へ電話による調査を実施したところ、平均で1割以上の売り上げ増、最大で4割の売り上げ増となったとの回答をいただいている。

市としては、現在も多くの方々に浜の駅松川浦へお越しいただいている状況から、同程度の波及効果が続いているものと考えている。

一方、浜の駅松川浦を訪れた方々が、まちなかの商店等をどの程度利用されているかについて、市は正確には把握していないが、道の駅そうま、磯部水産加工施設、浜の駅松川浦の3施設周遊イベントを実施しており、まちなかまで周遊していただけるように、今後とも関係団体と連携し取り組んでいく。

その他の質問

○行政システムの標準化につ

つて



↑こちらから↓

6次相馬市行財政改革大綱の趣旨及び理念を踏まえ、具体的な取り組みを各部署が主体的に実施計画に盛り込み着実に進めること。2点目は、実施計画に個別具体的な実施内容が挙げられていない場合においても、全庁各課、そして職員一人ひとりが行財政改革の意義を十分に理解して事務事業に取り組むこと。3点目は、市民に対し、市政の状況、特に財政の状況について情報公開し、幅広く理解を得ることである。

Q. 実施計画の検証について問う。

A. 市は、実施計画に掲げた取組項目について、年度毎に各部署において実績とその効果を分析し、行政事務改善委員会で検証したうえで、市長の承認を受けて実績として確定しており、その後、市民の代表で構成される行政改革推進委員会に報告し、ご意見をいただいている。

実施計画は、毎年度見直しをしながら策定することとしており、社会情勢の変化や前年度の進捗状況等を踏まえ、各課において継続、改善、追加等の判断をしながら、翌年度、新たな実施計画案として作成し、行政事務改善委員会及び市長協議を行ったうえで決定している。

その他の質問

○相馬市公共施設等総合管理

計画について



↑こちらから↓

連合商栄会にも参画いただきながら取り組んでいる。また、相馬商工会議所では、市の補助金を活用した賑わい創出事業として、「メガ得500事業」「飲んで食ってほろ酔いスタンプラリー事業」を実施している。また、相馬の新名物「福とら」と銘打ち提供している天然とらふぐの食材をより多くの方に食べてもらうため、市は国のブルーツーリズム事業による情報発信や誘客に取り組むとともに、相馬商工会議所を中心に市内での「福とら」取扱店を増やす取組を行っている。今後は、相馬商工会議所や市街地内の行政区長等の関係部所が一同に会する意見交換会を実施し、中心市街地活性化計画の改定を進めていく。

Q. 歴史を活かしたまちづくりについて問う。

A. 本市には旧藩政の中心地、相馬中村城跡があり、1670年に落雷で天守が焼失したが、領民を苦しめなかったために、藩主の相馬忠胤公は天守の再建を行わなかった。また、廃藩置県に伴い多くの武士が郊外へ帰農した結果、現在の市街地には残念ながら歴史的建造物等がほとんど残されていない。

市としては、これらの歴史的背景を踏まえながら、市にふさわしい「歴史まちづくり計画」とはどのようなものかを研究してまいりたいと考えており、同時に、まずは、市民一人ひとりが、先人に思いを馳せ、郷土の歴史や風土文化を正しく理解することで、郷土を愛する心をはぐくみ、広い視野で市の発展を考えることが重要であると考えている。

その他の質問

○観光産業の振興について



↑こちらから↓

認定番号	件名	審議結果
1	令和5年度相馬市一般会計歳入歳出決算認定について	認定 全会一致
2	令和5年度相馬市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 全会一致
3	令和5年度相馬市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定 全会一致
4	令和5年度相馬市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定 全会一致
5	令和5年度相馬市光陽地区造成事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定 全会一致
6	令和5年度相馬市下水道事業会計決算認定について	認定 全会一致

請願番号	件名	審議結果
1	国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	不採択 賛成少数
2	県に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」提出についての請願	不採択 賛成少数

陳情番号	件名	審議結果
2	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情書	採択 全会一致

議案番号	件名	審議結果
66	相馬市農業委員会委員の任命について	同意 全会一致
67	相馬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 全会一致
68	相馬市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意 全会一致
69	人権擁護委員の推薦について	適任 全会一致
70	人権擁護委員の推薦について	適任 全会一致
71	相馬市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決 全会一致
72	相馬市ひとり親家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 全会一致
73	相馬市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 全会一致
74	福島県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	原案可決 全会一致
75	令和6年度相馬市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 全会一致
76	令和6年度相馬市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決 全会一致
77	令和6年度相馬市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
78	令和6年度相馬市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
79	令和6年度相馬市光陽地区造成事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
80	令和6年度相馬市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決 全会一致
81	国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書	原案可決 全会一致

9月定例会

日程、内容、傍聴者数について

9月定例会の本会議の日にち毎の主な内容、傍聴者数についてお知らせいたします。

本会議	日にち	内容	傍聴者数
1日目	9月 2日(月)	議案の上程等	1人
2日目	9月 5日(木)	一般質問等	13人
3日目	9月 6日(金)	一般質問	6人
4日目	9月19日(木)	議案採決	0人



基幹交通網に関する 特別委員会要望活動報告

基幹交通網に関する特別委員会は、7月19日及び26日に国土交通省やNEXCO東日本、地元選出国会議員などへ、常磐自動車道の4車線化の早期実現を求める要望を行いました。

要望先：国土交通省及び東北地方整備局、

NEXCO東日本、
地元選出国会議員（14名）



↑尾崎行直国土交通大臣政務官（当時）（左から5人目）に要望書を手渡す委員長ら

↓高橋知道代表取締役副社長建設事業本部長（右から5人目）に要望書を手渡す委員長ら



要望内容

「常磐自動車道の4車線化の早期実現」

当地方の復興・創生にとって欠かせない道路である常磐自動車道は、平成27年3月1日の全線開通以降、令和3年6月13日までに「いわき中央IC～広野IC間」、「山元IC～岩沼IC間」の4車線化工事が完了いたしました。

また、令和元年9月10日には「高速道路の安全・安心基本計画」の中で、常磐自動車道「浪江IC～山元IC間」が4車線化優先整備区間に位置付けられ、これまでに「浪江IC～南相馬IC間」1.9キロメートル、「相馬IC～新地IC間」6キロメートル、「広野IC～新地IC間」5.6キロメートルが4車線化事業許可となったほか、令和6年3月27日には、「山元南IC～山元IC間」5.5キロメートルが4車線化の事業許可を受けております。

常磐自動車道は、大規模災害時には、応急復旧を速やかに実施するための資機材や支援物資・人員の輸送を担うほか、平時においては、重要港湾相馬港を起点とした、南北へ展開する国内産業におけるサプライチェーンを構成する重要な道路であります。さらには、相双地方から仙台市やいわき市に立地する高次医療施設へのアクセス道路であり、「命と暮らしを守る道」としての役割、そして冬期間や災害時における東北自動車道と並ぶ東京～仙台間のダブルネットワークとしての役割、相馬市のみならず福島県浜通りにおける交流人口拡大を果たす役割、福島第一原子力発電所が廃炉作業中であることから、緊急時における地域住民や作業員等の避難路としての役割が期待されております。

しかしながら、相双地域における常磐自動車道は、約90キロメートルにも及ぶ長い暫定2車線区間を有しており、物流量の増大や、帰還困難区域の復興のほか、

福島第一原子力発電所廃炉作業に伴う車両等の増加により、交通渋滞、交通事故がたびたび発生しております。

このような中、令和5年5月28日には新地IC～山元IC間下り線で軽乗用車が横転したことにより通行止めとなるほか、令和5年1月25日には、相馬IC～新地IC間で軽自動車と大型トラックが正面衝突して1人が死亡する重大事故が発生しており、更に、令和4年6月7日には、南相馬IC～相馬IC間下り線で、大雨によるのり面崩落により通行止めとなるなど、相双地域の交通にたびたび支障を生じていることから、常磐自動車道の安全性・信頼性の向上が必要であると思料されます。

つきましては、福島第一原子力発電所を抱える当地方の特異性も十分に考慮いただき、常磐自動車道「広野IC～山元IC間」の全線4車線化を早期に実現していただき、ますます強く要望いたします。

↓要望区間の図



令和6年7月臨時会（7月22日）

漁業振興対策事業費 の増額

7月4日に相馬双葉漁業協同組合より市に対して支援要請を受け、相馬地方の漁業振興の一策として、漁船の修繕・メンテナンス機能を今後とも継続し、基幹産業である漁業の維持継続、地域漁業の振興のため、250万円を増額するもの。



小中学校の特別教室の エアコン設置に伴う 工事費積算業務委託料

小中学校の特別教室へエアコンを設置するにあたり、必要な工事費等を積算するため712万7,000円を増額するもの。
事業実施には、国の補助事業である学校施設環境改善交付金を活用することとしており、その補助率は、国が示す整備単価の3分の1となっている。

今後、補助事業の申請を行うが、採択されない場合は、市の財政負担を考慮すると、市単独費用だけの整備は困難であることから、次回以降の採択に向けて再度申請する。



7月臨時会の審議結果

議案番号	件名	審議結果
65	令和6年度相馬市一般会計補正予算(第4号)	原案可決 全会一致

7月臨時会の映像はこちら



市の冬の花である「さざんか」

議会を傍聴してみませんか？

市議会は3月、6月、9月、12月に開催しており、どなたでも傍聴することができます。また、事前連絡も不要です。
傍聴をご希望の方は、議会開催日に市役所2階の傍聴受付までお越しください。

次の定例会は **12月2日（月）**

午前10時00分 開会予定です。◆受付時間 午前9時30分～

12月定例会の会期日程（予定）

月日	会議	内容
12月 2日（月）	本会議	議案の提案と説明など
5日（木）	本会議	一般質問（1日目）
6日（金）	本会議	一般質問（2日目）
9日（月）	委員会	各常任委員会
10日（火）	委員会	各常任委員会
12日（木）	委員会	予算決算常任委員会
18日（水）	本会議	議案の採決など



※日程は予定日となるため、変更となる場合があります。

編集後記



いつもご愛読いただきありがとうございます。ご協力ありがとうございます。

議会の活動について、皆様と共有できる場として、今月19日（火）に議会報告会を開催いたします。

議会活動の一端を報告いたします。皆様には、議会活動をご理解いただき、ご意見、ご要望をお寄せいただければと思います。

議員18人、少しでも市民の皆様への期待に応えられるよう、力を合わせて全力で取り組んでまいります。

YouTube

配信やっています！

YouTube 相馬市議会
チャンネル



パソコンやタブレット、スマートフォンからもご覧いただけます。



<https://www.youtube.com/channel/UCTpl1YDq5DKU2Oqt49cbe8g>

まいります。皆様のご来場をお待ちしております。（根岸）

議会だより編集委員

委員長 畑中 昌子
副委員長 波多野 広文
委員 只野 敬三
委員 根岸 利宗

第8回

相馬市議会主催



議会報告会 & 車座トーク

～よりよい相馬をつくっていきましょう！

聴かせてください みんなの思い～

開催日時

11/19(火) 午後6時より

内容

1 議会活動報告

議会の委員会って、何をしているの？委員会の活動について報告します！

2 車座トーク

意見交換会！市政に日頃感じていることをお伝えください！

会場

道の駅そうま体験実習館

立谷字立谷467

八幡公民館

坪田字北田68

市民会館多目的ホール

中村字北町51-1

担当議員

愛澤 俊行・瀬庭 大輔
浦島 勇一・河内 幸夫
佐藤 満・門馬 優子

担当議員

横山 和雄・高橋 利宗
石橋 浩人・菊地 清次
只野 敬三・根岸 利宗

担当議員

中島 孝・畑中 昌子
山中 宣明・杉本 智美
波多野広文・高玉 良一



3カ所同日開催

お問い合わせ



ご都合の良い場所でご参加ください

相馬市議会事務局 TEL 0244-37-2177

